

もり おか

本土の丘だより

福岡県立精神医療センター 太宰府病院情報誌 Vol.19 **12月号**



目次

ご挨拶・・・2p
Dr.Voice・・・3p
D-MARPPについて・・・4p
新任者紹介
デイホスのご紹介・・・5p
院内イベント報告・・・6p
スタッフリレー
ポエム
編集後記・・・7p
外来受診案内・交通アクセス 8p

【基本理念】

患者さんのために、患者さんとともに

【基本方針】

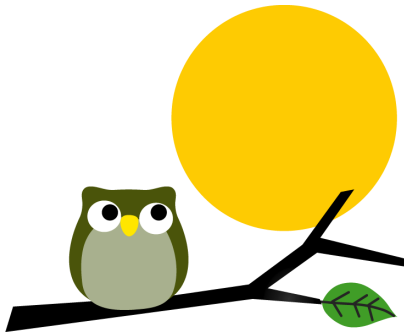
- 1.患者さんの尊厳と権利を尊重し、説明と同意に基づく信頼される医療を目指します。
- 2.安全と質の高い精神医療を提供します。
- 3.精神救急医療の充実に努めます。
- 4.多職種チームの連携により社会復帰を支援します。
- 5.健全な病院運営に努め、地域の方々に親しまれる病院を目指します。



福岡県立精神医療センター太宰府病院

指定管理者 一般財団法人 医療・介護・教育研究財団





ご挨拶

看護部長 櫻井 敬子



太宰府病院看護部長の櫻井です。多くの関係諸機関の皆様方には日頃から大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

今年4月に震度7の地震が起きた熊本で、今度は、阿蘇山で36年ぶりに爆発的な噴火が起きました。地震からの復旧・復興を目指す町は、新たに火山灰との戦いを強いられています。被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

前回の杜の丘だよりでは「医療経営」について少し触れましたが、良い成果を生み出す医療機関には、有能な中間調整者が存在し、知識が豊富で、現場をよく観察し、現場サイドから慕われ、いかなる場合にも即時的に対応でき、トップと現場を上手く調整できる能力に長けた存在が重要であるということです。私自身はいずれも力不足の部分が多く感じているのですが、私の目標でもあります。入院時から退院を見据え地域に繋げていくという多職種連携の治療の中で、看護力が発揮できるように院外研修、研究論文発表を進めてきました。また、SSTや心理教育、家族心理教育、うつ病認知行動療法、アルコールリハビリテーションプログラム（ARP）などに続き9月より薬物使用障害治療プログラム（D-MARPP）を開始しました。組織横断的には看護力の底上げに実践を重視した認定看護師や、これからは根拠に基づく「看護学」の向上を目指した専門看護師の存在も現場と共にコミットしていき、看護部を盛り上げていかなければならないと自分自身を鼓舞しているところです。

話は変わりますが、平成27年12月1日より改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度の実施が労働者数50人以上の事業場において義務付けられました。当院においても先ごろその結果通知書が来ました。私の場合は、業務のこと私的なこと頭の中はパンク状態な上に、年のせいか不眠にも悩まされているのですが、なぜか「ストレスをあまりかかえておらず、またストレスの原因となる要素もあまりないよう」な結果でした。それなりにストレス対処ができていられるのだらうと思います。現場では緊張の場面が多いので、職員によっては神経が休まらないことも考えられます。職場環境について細心の注意を払う必要があります。部署別にもストレスの度合いに変化があり、これから現場とともに対策を考えていかなければなりません。「心身相関」という言葉があるように、私たちの心と体は関係があり、体が疲れてしまうと心も沈みがちになったり、余裕を失いがちになってしまうようです。肉体的に疲れない様にする 것도心の余裕を保つコツの1つだそうです。

これからも微力ながら当院看護部を先導する所存でおりますので、皆様のお力添えをよろしく願いいたします。



「大人の発達障害」？

医師 中川 伸明



発達障害と聞くと子供が持つものとイメージされる方も多いと思いますが、最近では「大人の発達障害」が知られるようになってきました。「大人」といっても発達障害は生まれながらの特性であり、大人になってから発症するものではありません。「大人の発達障害」とは、大人になるまで発達障害に気付かれず、大人になってから自覚したり周囲に指摘されたりするものです。学童期では「個性的な子供」として評価されながら、それなりに乗り越えていくことができた人も、社会に出ると求められることが多くなるなど、より厳しい状況も増え、「個性的な人」ではなく、「仕事ができない人」「空気が読めない人」とマイナス評価を受け続け、戸惑ったり悩んだり、さらには抑うつ症状にまで至ることがあります。ですから自分では発達障害と気付かず、気分の落ち込みや不眠などの精神的な不調を理由に精神科などを受診し、そこで初めて発達障害と診断される方も多いです。

発達障害は、主に「広汎性発達障害」「学習障害」「注意欠陥多動性障害」の3種類に分類されます。それぞれ特徴は異なりますが、「広汎性発達障害」や「注意欠陥多動性障害」では、コミュニケーションや良好な人間関係を作ることが苦手であったり、うっかりミスや思いつきの言動などもあり、学校や職場で問題が生じてしまう方がいます。（他にも、・その場の空気が読めない。・家事などの段取りが苦手。・約束などをよく忘れる。などがあります。）

病院などで発達障害の診断を受け、その特性を知ることで、これまでの自分の苦手なことの原因がわかり、ほっとされる方も中にはおられます。精神科では診断だけでなく、発達障害が原因で生じている精神的な不調への対応を行っています。不眠や抑うつ気分などにお薬を出すことはありますが、治療で大切なことは、「自身の特性」をしっかりと理解し、また周囲も同様に理解し、時には支援を受けながらも苦手な部分への対応策を作っていくことです。例えば、予定変更への対応が苦手な方や変更してしまいやすく困っている方は、1日のタイムスケジュールをしっかりと作り、まずはその通りこなしてみようということもその1つになります。地道な作業ですが、ひとつずつでも苦手な部分がクリアできることは、自信にも繋がる大切な体験であり、精神的な不調の改善に繋がることもあります。

「大人の発達障害」にはいくつかのタイプがあり、困っていることも皆さんそれぞれです。感じている「やりづらさ」が発達障害の特性によるものかもしれません。気になる方は、一度精神科や心療内科でご相談されてみてはいかがでしょうか。



D-MARPP について



医師 佐藤 伸一郎

この9月から外来の薬物依存症治療プログラム（D-MARPP）を担当しています。覚せい剤、マリファナ、危険ドラッグといった違法薬物乱用者ばかりでなく、睡眠薬や抗不安薬等の処方薬乱用者も治療対象としています。



これまで薬物依存症への対策といえば、刑罰による取り締まりと「ダメ。ゼッタイ」というキャンペーンでした。違法薬物を使うことは犯罪ですから、見つければ逮捕され、罰金や懲役という刑罰を科せられます。「刑務所に入れられる。」「何十万も罰金をとられる。」ことは、それ自体、薬物使用を思いとどまらせる効果があります。でも、刑罰への恐怖だけでみんなが薬をやめられるわけではありません。

依存症になると、どうしても生活は薬物が中心になってしまいます。楽しいとき、悲しいとき、不安なとき、つらいとき、することがなくてヒマなとき、寂しいとき、怒りを感じたとき、おなかですいたときなどなど。どのような状況でも、依存症者は薬物を使うのです。健康的な人間関係は失われて、いっしょに薬を使う人同士や薬の売人との危険な人間関係だけが残ります。（この状況は、アルコール依存症と全く同じです）

ですから依存症を治療するときには、「どうしてまた使ってしまったの?!」「どうしてやめられないの?!」「意思が弱いんじゃないの?!」という、質問の形をとった叱責や、「次に使ったら、ここではもう治療してあげない。」という脅しは、あまり有効ではありません。

必要なのは、薬物の有害性についての正しい知識と、薬物を使わない生活を続けるための方法を身につけてもらうことです。どのようなときに薬を使いたくなるのか、使いたくなったらときはどうすればよいのか、万が一使ってしまったらどうすればよいのか、誰に相談すればよいのかを、具体的に伝えることが大切です。

D-MARPPは、国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦先生が開発されたSMARPP（スマーブ）というプログラムと同じテキストを用いて、依存症からの回復を目指すためのプログラムです。薬物乱用をやめる意思をもってこのプログラムに参加し続ければ、薬物はきっとやめられるはずで



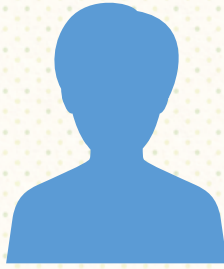
新任者紹介

いわした たかお
岩下 貴雄

看護師

趣味：スポーツ全般

精神科看護は初めてなので、色々な事に頑張ります。



はやた ふみこ
早田 富美子

事務職

各部署の方々と仲良くしていきたいです。宜しくお願いします。



デイホスピタルのご紹介



デイホスピタルってどんなところ？

外来通院の方を対象に、同じような悩みを持った人が集まり、さまざまな活動を通して、自分なりの生活を築くことや社会復帰の準備をするための通所施設です。

デイホスでは、こんなことをしています！

- ・就労準備活動（勉強会、就労体験、施設見学）
- ・創作活動（革細工、陶芸、生花など）
- ・スポーツ（ソフトバレー、卓球、バドミントン、ヨガなど）
- ・外出活動（太宰府天満宮、九州国立博物館など）

その他、バーベキューやクリスマス会など充実したイベントを行っています。



後列左から：中島・川村 前列左から：高橋・早野・金子

担当スタッフ：看護師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士がお待ちしています！

まずは、担当の先生にご相談ください。見学も随時受付しております☆



お問い合わせ 092-922-3137 デイホスピタルまで

「ちょいと寄ってん祭2016」のご報告

作業療法士 後藤 拓見

当院では毎年秋の恒例行事として、「ちょいと寄ってん祭」を開催しております。今年も10月21日に開催し、地域の作業所やボランティアの方々をお招きして、模擬店やステージ、作品展示等の様々なイベントを実施しました。どれも大変盛り上がり、多くの方々に大変楽しんでいただきました。当日は大変多くの方々に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。来年も皆様と楽しめるお祭を作り上げていきたいと思っております。



フラダンスやエイサーに
楽器演奏等、とても盛り
上がりました😊

今年のお祭りのテーマは

愛でした♥♥♥



そば打ち体験報告



打ち終わったそばは、
皆さんで美味しくいた
だきました☆

栄養科では病棟ごとに1年に1回イベントを実施しています。その中の1つとして、8月にデイホスピタル、9月にC1病棟でそば打ち体験を実施しました。

そば粉を打って、意外と固い生地を伸ばし、同じ細さに切るのは難しそうでした。体験の後はザルそばとして提供し、いつもは食欲がない方でもこの時は食べられていました。

初めてそば打ちを経験した患者さんだけでなく、スタッフにも楽しんでいただけたようです。



史跡まちの音楽隊コンサート

平成28年7月15日、当院体育館にて『史跡まちの音楽隊コンサート』が行われました。このコンサートは太宰府市文化スポーツ振興財団のご協力により実現したもので、プロのフルート奏者である森岡有裕子さんとパーカッション奏者の前田啓太さんを演者に迎え、入院されている方はもちろん外部からもたくさんの参加がありました。

短い時間ではありましたが、美しい音色が当院を包み込みました。

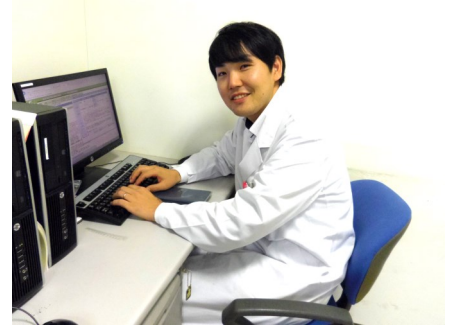


スタッフリレー

皆さん、こんにちは。作業療法士の後藤さんよりバトンを受け取りました。

精神保健福祉士（ソーシャルワーカー）の山口亮佑です。精神保健福祉士は患者さんの退院後の生活がより充実したものになるように、住まいの環境調整、患者さんのニーズに応じた福祉・介護サービス利用のサポートや金銭面に関する制度の情報提供など、生活に関する支援を幅広く行っています。患者さんやご家族の中で、相談するところが分からずに悩んでいたという方は、精神保健福祉士にその悩みや不安をご相談ください。

太宰府病院に入職して1年半、多くの患者さんに関わっていく中で、退院された患者さんやそのご家族と外来で会ったとき、皆さんが安心して生活されている姿を見ると幸せな気持ちになりますし、それが私にとってなによりのモチベーションです。これからも先輩方にご指導いただきながら、患者さんとその家族にとって、とっつきやすく頼りになる相談員を目指して日々精進していきたく思います。今回はC1病棟看護師の重富さんにバトンを渡します。



精神保健福祉士

山口 亮佑



たるくんにさんこのポエム

山彦

山の谷から、
大きな声に、こだまする
山彦、ヤッホー・ヤッホー

麓まで、とどいたか、
麓の方を、眺めると、緑が青い。

山道を、歩いていくと、
アザミの花に花ムグリたち、
眠り込んでる。

自然の世界麗しく、
幸せいっぱい晴模様。

山の谷から、
こだまする
見晴しのいいあの場所で
ヤッホー・ヤッホー

遠くまで、そして、自分達にも、
聞こえてくるよ。

たるくん



こんにちは、いつも病院のどこかしらでアルトサクソフオンを演奏しております城島です。「杜の丘だより」はいかがでしたでしょうか？今回は院内での取り組みのご紹介や、イベントのご報告が多かったかと思われます。太宰府病院では、患者様の快適な毎日に寄り添えるよう様々な取り組みやイベントに力を入れております。院内の掲示板などで、各種告知等をさせていただいておりますので、是非時折覗いてみてくださいませ。

今年の中々冷え込みの到来が遅く、日々着る物に悩まされますね。日中と夜間の寒暖差が激しいので、皆様体調を崩されないようお気を付け下さいませ。

編集後記



音楽療法士 城島 由佳

～ 受付時間 ～

●平日

新患 8:30～11:00 13:00～14:00
 新患の場合、事前に予約が必要となっております。

再来 8:30～11:30 13:00～15:00

デイホスピタル 9:00～9:30

※診療科により、診察日及び時間が異なる場合があります。

お問い合わせください。

●土曜日

再来 8:30～11:00

～ 診察時間 ～

●平日 8:30～17:00

●土曜日 8:30～12:00



患者さんの権利と責任

- 一 患者さんは常に個人としての尊厳を守られる権利があります。
- 二 患者さんは適正で良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 三 患者さんは自分が受ける治療や検査の内容について、正確で分かり易い説明や必要な情報を求める権利があります。
- 四 患者さんは十分な説明を受けた後、自己の自由な意思に基づいて医療を受け、または、拒否する権利があります。
- 五 患者さんは医療のどの段階においても、別の医師の意見を求める権利があります。
- 六 患者さんは診療上の個人情報保護される権利があります。
- 七 患者さんは病院の医療行為について、適切な医療を受ける権利があります。



【医師担当表】 平成28年4月1日現在

	精神科 外来		内科外来	歯科外来	
	新患	再来		午前	午後
月	濱田・土本・良永・望月	小嶋・二宮・中川・松尾	石橋	-	-
火	大林・佐藤・竹田	重松・佐々木・品川・武藤・望月	石橋	-	-
水	小嶋・佐々木・尾久・松尾	濱田・阿部・判田	-	-	安波
木	重松・二宮・判田・品川	土本・尾久・佐藤・良永	宇野	-	-
金	中川・阿部・武藤	二宮・大林・竹田	石橋	-	橘
土	-	外来担当医	-	-	-

Access Map



【電車】

西鉄五条駅
 徒歩 5分

【車】

福岡方面からは、君畑交差点左折、駅入口右折

久留米方面からは、星ヶ丘交差点右折、すぐ左折

住所・電話番号

〒818-0125 福岡県太宰府市五条三丁目8-1
 TEL 092-922-3137(代表)
 FAX 092-924-4060
 URL <http://www.dazaifu-hsp.jp>
 E-mail info@dazaifu-hsp.jp

